

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長

(氏名) 前田 隆美

TEL 072-967-7000

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,893	△20.0	△44	—	△159	—	△367	—
23年3月期第3四半期	2,373	△4.8	5	△49.6	△63	—	△94	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △403百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△110.13	—
23年3月期第3四半期	△28.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,175	987	23.0
23年3月期	4,873	1,439	28.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 962百万円 23年3月期 1,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,480	△19.4	△66	—	△192	—	△380	—	△113.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	3,506,000 株	23年3月期	3,506,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	172,175 株	23年3月期	172,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	3,333,825 株	23年3月期3Q	3,333,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、依然として景気の停滞が続いております。中国を中心とした新興国など一部では成長を維持しておりますが、インフレ進行と金融引き締めを背景に成長率が鈍化しております。

また、欧州における財政危機や信用不安の深刻化、さらには米国での景気回復の遅れや失業率高止まりなどにより、本格的な景気回復はみられず厳しい状況が続いております。

わが国経済におきましても、東日本大震災の影響による極めて深刻な打撃から徐々に持ち直しの傾向がみられたものの、円高、デフレの長期化に加え、タイの洪水に大きく影響を受け、回復の動きは鈍化したままで推移しております。このため、企業業績の先行きは不透明感が強くなっており、厳しい事業環境となっております。

このような事業環境のもと、当社グループの中核事業の一つである半導体資材事業につきましては、FPD(フラット・パネル・ディスプレイ)業界における在庫調整による需要の低迷は継続しているものの、海外市況には一部明るい兆しが見えており、収支の改善につながりましたが、まだ予断を許さない業況であります。

もう一つの中核事業である衛生検査器材事業においては、国内景気の低迷にもかかわらず売上高の伸長がみられ、安定した業績推移を見せております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,898百万円(前年同期比20.0%減)、営業損失44百万円(前年同期は5百万円の営業利益)、経常損失159百万円(前年同期は63百万円の経常損失)となりました。

また、強固な経営基盤を構築し来期以降の損益黒字化と安定的な収益確保を果たすため、事業構造改善費用等の特別損失435百万円に加え、平成23年12月に公布された税制改正に伴う繰延税金資産の見直し等により、法人税等調整額を49百万円計上したことにより、四半期純損失は367百万円(前年同期は94百万円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間に引き続き液晶パネルの需要が欧州の金融不安、北米と中国の景気の先行き不透明感などにより低迷し、当社販売数量が想定より大幅に下回りました。生産拠点の集約効果は当第3四半期連結会計期間には大きく発揮できませんでしたが、株式会社アテクト코리아(韓国法人)は11月～12月の出荷量が10月対比約2倍増、安泰科科技股份有限公司(台湾法人)は12月の出荷量が11月対比約1.5倍増となり、当第3四半期連結会計期間の営業利益は1百万円(前年同期は20百万円の営業損失)でありました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の半導体資材事業の売上高は611百万円(前年同期比44.3%減)となり、営業損失は47百万円(前年同期は55百万円の営業利益)となりました。

② 衛生検査器材事業

テレマーケティングの効率化による新規顧客の獲得と既存顧客の維持・拡大が奏効しております。加えて生産設備を拡充した生培地(培地充填済みシャーレ)の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比31.1%増と大きく伸張し、営業利益は43百万円(前年同期は28百万円の営業利益)となりました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の衛生検査器材事業の売上高は1,076百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は118百万円(前年同期比61.3%増)となりました。

③ P I M (パウダー・インジェクション・モールディング) 事業

P I M事業につきましては、中国や台湾向けにM I M(メタル・インジェクション・モールディング)用材料販売において、中でもスマートフォン部品向け用途であるバインダーの受注状況に明るい兆しがでています。

また、C I M(セラミック・インジェクション・モールディング)で製作した放熱セラミック部品であるヒートシンクに大手家電メーカーからのサンプル受注があり、弊社のC I M技術に引き続き高い評価を得ることができ、P I M事業の当第3四半期連結会計期間末の受注残高は7百万円となりました。

以上の結果、P I M事業の売上高は12百万円(前年同期比33.5%増)、営業損失は64百万円(前年同期は48百万円の営業損失)となりました。

④ プラスチック造形事業

プラスチック造形事業につきましては、主力の成形受託事業において、昨年3月の震災の影響による一部の素材調達遅れ、先行きの不透明感に由来する開発や投資の鈍化を受け、第1四半期以降受注の伸び悩みがありましたが、現在のところ市況はやや回復し、横ばい基調にあります。

以上の結果、プラスチック造形事業の売上高は179百万円(前年同期比13.3%減)、営業損失は26百万円(前年同期は16百万円の営業損失)となりました。

⑤ ポリマー微粒子事業

ポリマー微粒子事業の国内での営業活動につきましては、有力サービスビューロへの材料供給を安定的に確保しております。加えて、欧米でも有力サービスビューロ数社への材料供給がスタートしました。また拡販へ向けたテスト造形も継続しております。中国においては、三次元積層造形用マシンメーカーとの共同開発を進めております。

以上の結果、ポリマー微粒子の売上高は26百万円（前年同期比0.1%減）、営業損失は25百万（前年同期は52百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ14.3%減の4,175百万円となりました。

総資産の主な増加要因は、「繰延税金資産」が209百万円増加したこと等によるものであります。一方、主な減少要因は、「土地」が176百万円、「建物及び構築物」が167百万円、「現金及び預金」が101百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ7.2%減の3,187百万円となりました。

負債の主な増加要因は、「短期借入金」が152百万円増加したこと等によるものであります。一方、負債の主な減少要因は、「1年内返済予定の長期借入金」及び「長期借入金」が215百万円、「支払手形及び買掛金」及び「設備関係支払手形」が153百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ31.4%減の987百万円となりました。

純資産の主な減少要因は、四半期純損失計上及び配当の支払により「利益剰余金」が400百万円、「為替換算調整勘定」が36百万円、「新株予約権」が15百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,209,632	1,108,491
受取手形及び売掛金	475,140	428,556
商品及び製品	201,916	155,117
仕掛品	24,821	16,633
原材料及び貯蔵品	218,182	191,869
繰延税金資産	39,570	25,057
未収還付法人税等	19,451	9,284
その他	117,378	12,750
貸倒引当金	△1,404	△1,015
流動資産合計	2,304,690	1,946,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	761,277	593,352
機械装置及び運搬具（純額）	466,873	422,428
土地	986,675	809,974
建設仮勘定	133,407	49,892
その他	38,671	19,117
有形固定資産合計	2,386,904	1,894,765
無形固定資産		
のれん	82,398	21,433
その他	19,303	16,704
無形固定資産合計	101,702	38,138
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398	1,748
繰延税金資産	8,811	233,228
その他	71,262	61,325
貸倒引当金	△1,269	△910
投資その他の資産合計	80,202	295,392
固定資産合計	2,568,809	2,228,296
資産合計	4,873,500	4,175,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	345,963	240,201
短期借入金	475,500	627,600
1年内返済予定の長期借入金	717,180	532,172
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
リース債務	64,468	80,519
未払金	73,392	58,210
未払法人税等	4,842	596
賞与引当金	42,729	6,187
設備関係支払手形	57,152	9,450
その他	41,768	47,677
流動負債合計	1,942,996	1,722,615
固定負債		
社債	568,576	509,186
長期借入金	755,342	725,267
リース債務	154,550	218,374
繰延税金負債	347	288
その他	12,501	12,071
固定負債合計	1,491,318	1,465,187
負債合計	3,434,314	3,187,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	217,551	△182,942
自己株式	△99,429	△99,429
株主資本合計	1,497,412	1,096,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	271
為替換算調整勘定	△98,978	△135,116
その他の包括利益累計額合計	△98,935	△134,845
新株予約権	40,709	25,166
純資産合計	1,439,185	987,238
負債純資産合計	4,873,500	4,175,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,373,729	1,898,065
売上原価	1,561,632	1,174,254
売上総利益	812,096	723,810
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	221,834	234,693
賞与引当金繰入額	14,197	2,670
その他	570,259	530,982
販売費及び一般管理費合計	806,291	768,346
営業利益又は営業損失(△)	5,804	△44,536
営業外収益		
受取利息	2,017	3,074
貸倒引当金戻入額	586	307
助成金収入	4,092	—
その他	3,641	2,996
営業外収益合計	10,338	6,378
営業外費用		
支払利息	22,118	28,379
社債利息	1,189	5,707
減価償却費	8,144	20,724
為替差損	31,653	60,487
その他	16,502	5,980
営業外費用合計	79,609	121,279
経常損失(△)	△63,466	△159,437
特別利益		
新株予約権戻入益	—	20,553
特別利益合計	—	20,553
特別損失		
固定資産除却損	560	9,026
リース解約損	3,321	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,286	—
事業構造改善費用	—	378,835
減損損失	—	48,049
特別損失合計	5,168	435,912
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,634	△574,796
法人税、住民税及び事業税	2,445	2,445
法人税等調整額	23,088	△210,085
法人税等合計	25,533	△207,640
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,167	△367,156
四半期純損失(△)	△94,167	△367,156

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,167	△367,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△298	229
繰延ヘッジ損益	—	—
為替換算調整勘定	△30,274	△36,138
その他の包括利益合計	△30,573	△35,909
四半期包括利益	△124,741	△403,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,741	△403,065
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。